

西濃運輸が語るEVトラックの実力とは？

EVトラック 導入事例



CO2削減取り組み『グリーン物流』

グリーン物流に関する共同プロジェクトの取り組み

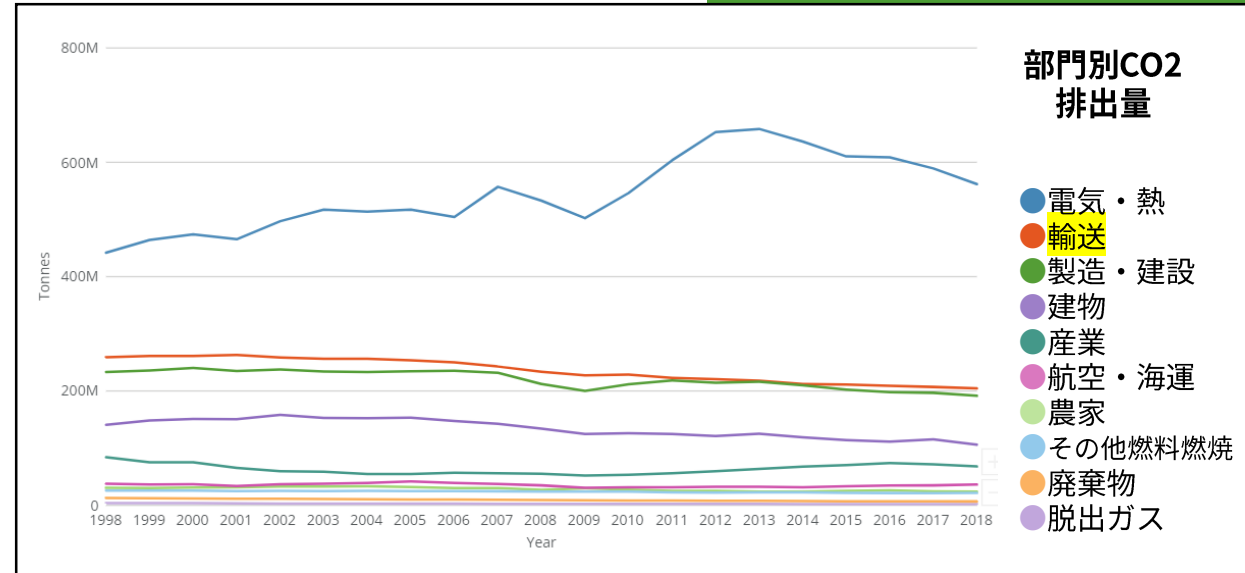
EVトラックが注目される背景とは？

「輸送」は日本の温室効果ガス排出量のほぼ4分の1を占めるため、ロジスティクスサービスを提供する当社としても、二酸化炭素排出量の削減に注力することが責務であると認識しています。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



1998年以降日本では「電気・熱」の次に「輸送」がCO2排出量の多い部門となっています。

新型コロナへの感染防止対策に伴う、人の移動の一時的な減少により、CO2排出量は減少傾向となりました。しかしながら、日本政府の目標を達成するまでにはまだまだ長い道のりがあります。

2021年4月に開催された気候変動サミットで、日本政府は、温暖化ガスの排出量を2030年までに、2013年度比で46%削減すると表明しました。

西濃運輸は2050年カーボンニュートラルの実現に向けてモーダルシフト、バイオディーゼル燃料の採用、ダブル連結トラックの導入における積載率の改善、および低排出ガス車と電気自動車（EVトラック）の導入などの取り組みを実施しています。今回はEVトラックの導入事例についてご紹介します。

EVトラックとは？

EVIは、Electric Vehicle（電気自動車）の頭字語であり、EVトラックは、部分的または完全に電力で走るトラックを指します。

EVトラックは、化石燃料（ガソリンまたはディーゼル）をまったく使用しないため、環境にやさしく、ランニングコストが安くなります。EVトラックは、大気汚染物質や温室効果ガスを含む排気ガスを排出しないゼロエミッション車であり、導入を拡大していくことは、脱炭素社会の実現に大きく貢献します。また、EVトラックは、ディーゼルトラックと比較してはるかに静かな車両のため、走行に伴う騒音も大幅に低減されます。



清潔で静かなEV走行



西濃運輸での導入実績は？

2022年2月、西濃運輸はEVトラック2台を導入しました。走行テストを行い、2022年4月よりコンシューマーエレクトロニクス系のお客様の製品配送に専属と限定されたエリアの配送で利用しています。

EVトラック以外にも、西濃運輸では、脱炭素社会の実現に向けて専用列車（ブロックトレイン）やダブル連結トラックの運用などのモーダルシフトを推進しています。今回は、グループ会社である西濃シェンカー（本社／東京都品川区、CEO／オン シュウウェイ）と共同で取り組み、「グリーン物流」を実現しました。

この度導入したEVトラックは、三菱ふそう製の3トントラック「eCanter」です。

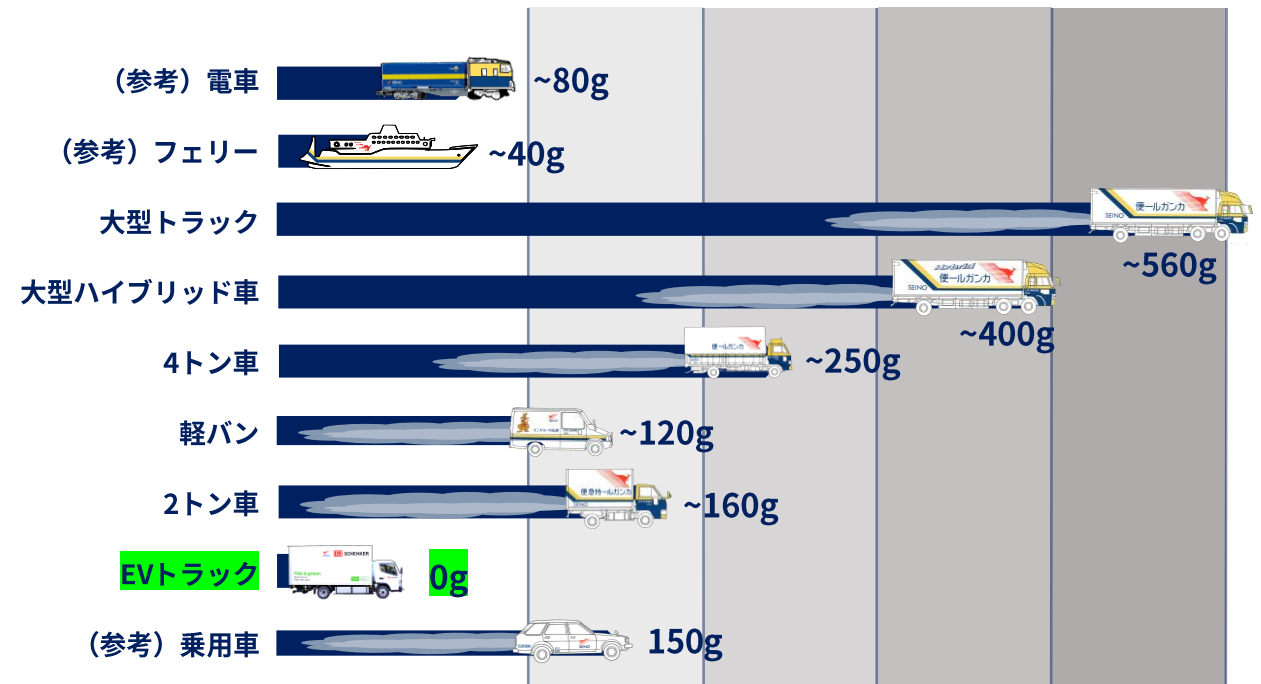
2022年4月実績

12.9kg削減

※自家用車 90km走行相当
のCO2排出量削減

1kmでのCO2排出量(g)

輸送モード



当社実績データから改良トンキロ法より算出（貨物を積んだ状態での運行）



西濃運輸が回答します

将来的にEVトラックの成長を確実にするための戦略は何ですか？

物流業界の観点からは、バッテリーのエネルギー使用量、及びルートやサービススケジュールを最適化することにより、テクノロジーを最も効率的に使用する方法に関する知識を増やすことです。社会の観点からは、インセンティブや多数の車両をサポートするための充電インフラストラクチャと電力（グリッド）容量の提供を支援することによって、移行を促進する必要があります。つまり「持続可能な輸送」の実現です。

EVトラックに搭載されている電池は使用済みになった後はどうなりますか？

回収したバッテリーをリサイクルすることは今のところ実現出来ていない状況です。リサイクル技術の開発を綿密に追跡し、電気自動車（EV）バッテリーが運用容量の限界に達した後、故障時のリビルト品としてや災害時の補助バッテリーとして再利用などを検討しています。

乗り心地など、運転のしやすさは他のトラックと違いがありますか？

EVトラックを運転しているドライバーにインタビューをしました。「電気トラックは振動や騒音が少ないため、快適でリラックスした運転ができます。環境にも、そして我々ドライバーにも優しいトラックだ。」

EVトラックの一番の課題は何ですか？

走行可能距離が一般的なディーゼル車両と比較してかなり短いことです（フル充電後の走行可能距離100km）。また、バッテリーが充電されるまで11時間かかります。EVトラックのメリットを最大限に引き出すため、実装するエリアを、配送拠点に近く、出荷量が一定数あるお客様を選択しました。

このように、EVトラックの導入など環境に優しい取り組みを促進していくことで、ロジスティクスサービスを提供する会社の責務として、西濃運輸は、CO2排出量の削減に貢献して参ります。

「Co2排出量削減を目指して物流の見直しに取り組みたい」というお客様はぜひ当社にご相談ください。

お問い合わせ

当社のホームページ上で国内輸送の運賃を見積る際に、CO2排出量もご確認いただけます。

詳細はこちら